

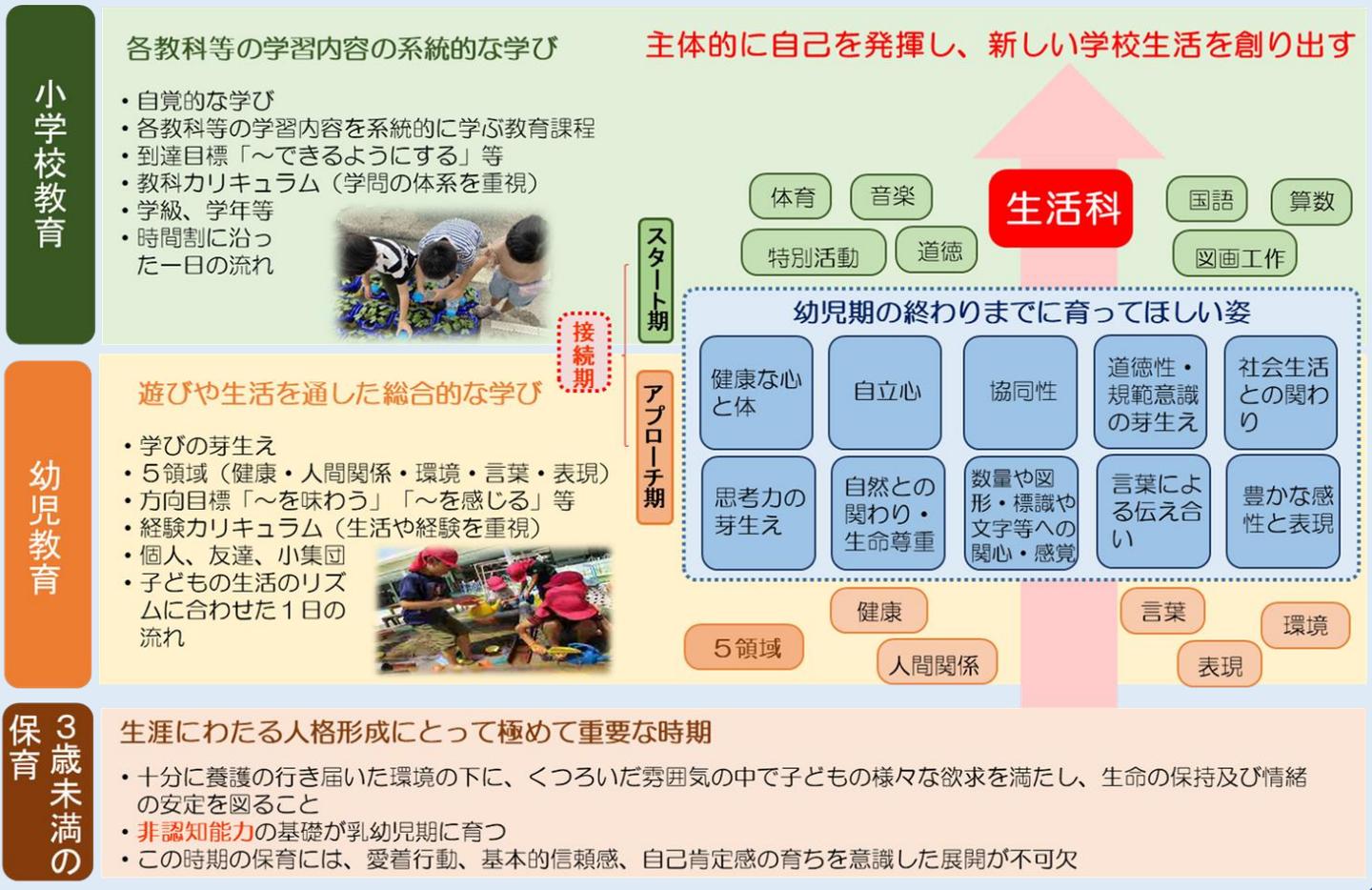
令和5年度津市架け橋プログラムがスタートしました！

令和5年度、津市教育振興ビジョン後期計画がスタートしました。本ビジョンの基本構想である「持続可能な社会の創り手となる自立した人づくり」をめざすため、3つの重点施策が位置づけられており、その一つが「乳幼児期から小学校への連続した学び～津市架け橋プログラムの実施に向けて～」です。本プログラムは、令和4年度より実施し、津市架け橋期カリキュラム検討ワーキング会議において、市内公私立小学校、幼稚園、保育所及びこども園の関係者が集まり、カリキュラム（案）を作成しました。

令和5年度は、特化研究プロジェクトのモデル小学校区（藤水、桃園、一志東、ハツ山）において、津市架け橋期カリキュラム（案）の実践・検証を行います。これらの小学校区で取り組んでいただく研究内容については、随時、この通信にて発信していきたいと思っております。

「架け橋プログラムって、具体的に何をすればいいの？」と不安に思っている学校・園もあるかもしれませんが、「それならできそう！」「やってみたい！！」と書いていただけるよう発信していきますので、ぜひ取組の参考にしてください。

乳幼児期は生涯の学びや生活の基礎を育む重要な時期です



非認知能力とは、頑張ろうとする力、粘り強く取り組む力、人の気持ちに寄り添う力・・・など。0歳からの積み重ねで獲得していく力であり、「生きる力」の根っこの部分です！！

